

平成23年大磯町議会

9月定例会一般質問（9月8日・9日）

質問議員	質問事項（1日目）	答弁者
<p>1 13番 坂田よう子議員 (60分) 9:05～10:05</p>	<p>1. 旧吉田茂邸再建事業の今後の展開を問う 7月5日、(財)吉田茂国際基金から多額の寄附を受け、町は、この寄附に対し感謝状を贈呈した。式典において、財団から、東日本大震災の復興を行なう今の日本に、戦後復興を成し遂げた吉田茂氏の偉業を学ぶ意義が語られ、感銘を受けた。 現在、町は、震災対応から再建活動の自粛を行なっているが、再建の具体的方針も示される時期と考える。旧吉田茂邸再建事業の今後の展開を問う。</p> <p>2. 大磯港活性化整備計画に対する町の対応を問う 平成19年、神奈川県から大磯港活性化整備計画が示された。この計画は、大磯町の自然、歴史、文化などの地域資源を活かした地域活性化の拠点となる港を基本理念として、平成29年までの10ヵ年計画で、現在、事業が行なわれている。 進捗状況は如何に。また、今後の展開を問う。 特に、計画最大の規模と目される「賑わい・交流ゾーン」の整備は、平成24年度から始まる計画である。港湾管理事務所、漁業協同組合事務所、市場、多目的スペース、飲食店、物販店、休憩施設、情報提供施設が対象とされ、整備主体として県のみならず大磯町が示されている。町の所見を問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p>
<p>2 2番 二宮加寿子議員 (60分) 10:20～11:20</p>	<p>1. 障がい者への支援について 「障害者基本法」の改正にともない発達障がい者の支援、就学前の障がいをお持ちのお子さんの保護者は将来への不安を持っておられます。又8月21日の総合防災訓練を受けて考えられる事が多いが、 (1) 町の現状は。 (2) 5歳健診の推進は。 (3) 障がい児の相談窓口はどうなっていますか、意志決定の支援の配慮は。 (4) 障がい者のための児童通園施設と町立小学校との連携がとれていますか。</p>	<p>町長 教育長</p>

	<p>(5) 障がい者への情報伝達や支援のあり方（避難路や道路の具体的な地図、段差等人が多いので遠い避難へは車イスや近くの障がい者が集える施設があればありがたいとの要望があるが）について伺います。</p> <p>2. 未成年のインフルエンザについて 一昨年、昨年に新型インフルエンザが大流行しましたが、 (1) インフルエンザの予防、対策の町の現状と対応は。 (2) インフルエンザの予防、啓発の進め方は。 (3) 小・中学生の集団接種は考えられるか。 (4) 未就学児の対応について伺います。</p> <p>3. 中学校給食について 仕事をもつ保護者が増えている中、中学校の完全給食を望む声を多くききますが、 (1) 町の考え方とスケジュールを伺います。</p>	町長 教育長 町長 教育長
3 12番 関威國議員 (40分) 11:20~12:00	<p>1. 役場玄関口に計画している葬儀場建設について問う (1) 葬儀場建設計画について見解を求める。 (2) 葬儀場計画地の土地を買って有効活用する考えはあるのか。 (3) 今後の取組みは。</p> <p>2. 国府橋拡幅整備計画について問う (1) 拡幅整備の完成目標はいつか。 (2) 拡幅整備にあたっての問題点は何か。 (3) 平塚土木事務所との連携は出来ているのか。</p>	町長 町長
4 7番 竹内恵美子議員 (50分) 13:00~13:50	<p>1. 原発事故後の本町のエネルギー対策について (1) 本町のエネルギー対策と計画と新たな取り組みは。 (2) 全国的な電力事情から風力発電等を進める考えは。 (3) 再生エネルギーに対する考えは。 (4) 国でも省エネを推進していますが、町としてその他公共の施設への設置はいかがか。</p> <p>2. 鳥獣被害対策を町としてどのように進めていくのか (1) 今までの経過と最近の被害状況は。 (2) 被害拡大に歯止めをかける対策は。</p>	町長 町長

	<p>3. 生沢プール跡地利用について プールの取り壊しが終わりましたが、先日、これから検討会を作ってやっていくという発表がありました。生沢地区からの要望は活かされていくのか。</p>	町 長
<p>5 15番 清水 弘子議員 (60分) 14:10~15:10</p>	<p>1. 鳴立庵西側の葬儀場建設計画白紙撤回を求める。その後の進捗は 今も葬儀場建設計画が進んでいることに町内外から驚きとあきれたという声が多い。理由として、交通事故や渋滞の地区、狭く、駐車場がない。 鳴立庵は町民の誇りである場所。一帯を整備して、鳴立庵を魅力的なものに整備していく必要があるなど。 その後、事業者との交渉は町民の期待に応えられるものか。</p> <p>2. 万台こゆるぎの森の保証料1億8,000万円は支払われたか (1) 星槎国際学園との交渉の進捗は。 (2) 人工芝サッカー場の擁壁の完了届は出されたか。 (3) マリア道の拡幅は反対である。厳しい財政上、急ぎ進める理由は。 (4) 町民は災害時の避難場所として確保を望んでいるが、対応は。</p> <p>3. 放射能汚染問題への取りくみは 福島原発事故から放射能の拡散が現在も進んでいる。 (1) 学校給食への対応は。 (2) 屋外の放射線量の調査について。</p> <p>4. 石神台住宅入口の遊水池の平常時の開放を 遊水池は石神台入口に大きな面積をしめているが、一年中使われているとは言えない。 住民への開放は長年、住民の願いであります。町の対応はどうか。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>

<p>6 8番 高橋富美子議員 (50分) 15:30~16:20</p>	<p>1. 幼稚園・保育園・小学校・中学校等の防災マニュアルの見直し計画と訓練の実施について</p> <p>(1) 町立の保育、教育機関の防災マニュアルの見直し計画は作成されているか。又、その計画による訓練の実施は行われたか。</p> <p>(2) 町立の機関以外の保育、教育機関（県立おおいそ学園、県立大磯高校、サンキッズ大磯、まきば塾、ステパノ学園）や児童対象の地域支援センター素心、乳幼児の集まるクラブ（にこにこクラブ）等への助言指導は行っているか。</p> <p>2. 幼稚園・保育園・小学校・中学校、公園、プール等の放射能の調査について</p> <p>(1) 町立の保育、教育機関、及び公園の土壌、飲料水、植物に対する放射能の調査方法、調査結果はどうであったか。又、今後の調査実施はどうであるか。</p> <p>(2) 町立の機関以外の保育、教育機関（県立おおいそ学園、県立大磯高校、サンキッズ大磯、まきば塾、ステパノ学園）や児童対象の地域支援センター素心、乳幼児の集まるクラブ等での調査は行われたか。</p> <p>3. 生沢プール跡地利用の進捗状況</p> <p>(1) 当初の予定では6月に検討会を立ち上げるとなっていたが、どうなっているのか。</p> <p>(2) 公園、又は広場等として開設できるまでの安全面に配慮した管理方法はどうか。</p> <p>(3) 近隣の地域をはじめ、町民にとって有効活用できる場として、又、災害時における避難場所、仮設住宅の設置場所としての利用についてはどうか。</p>	<p>町 長 教育長</p> <p>町 長 教育長</p> <p>町 長</p>
---	--	--

<p>9</p> <p>11番 吉川 重雄議員 (80分) 10:40~12:00</p>	<p>1. 町長公約の政策の進捗はいかがか。その中での問題点はあるのかないのかを問う</p> <p>12月15日より行政を行って9ヶ月を経過した今、</p> <p>(1) 町民が自ら認識し、経営する町の実現（事業見直し・組織見直し・情報開示、「卓話集会」、「チャレンジセンター」の設置、役場窓口に「平成目安箱」を設置）</p> <p>(2) 町民のみなさんが心豊かに暮らせる町の実現（東海大学医学部附属大磯病院に「産科」の再開を、小児医療の充実、保健師・看護師・栄養士が24地区に出向き、「相談・指導」を実施、「高齢者のみなさんが住みやすい町」、安全・安心できる防犯・防災対策の実現）</p> <p>(3) 町の将来を担う若い人々や子どもたちのための町づくり（子育てしやすい町づくり、中学校に給食の実施、人生の達人と子どもたちの交流の場づくり）</p> <p>(4) 健全な財政を目指して：自然を生かし、地球にやさしい、新たな産業の掘り起こし（大磯港を生かした町づくり、地球にやさしい「循環型農業」で魅力ある農業経営の実現、大手企業跡地・未利用地を生かした町づくり）</p> <p>(5) 歴史的文化遺産を活用した町づくり（大磯の景観や歴史的建造物などを生かした町づくり）</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>10</p> <p>9番 鈴木 京子議員 (90分) 13:00~14:30</p>	<p>1. マリア道の新設・拡幅は可能か</p> <p>多くの町民がムダ使いと指摘するマリア道の事業は白紙にすべきと考える。以下の点について問う。</p> <p>(1) 1日1,500台が通る根拠と他の町道との整合性。</p> <p>(2) 学校法人国際学園は道路ありきで万台こゆるぎの森の整備事業に応募したというが、拡幅の約束は存在するか。</p> <p>(3) 6月補正予算の年度内執行の見通し、完成までの事業費の全容と工程は。全ての土地の買取要件が整うまで買取しないことを求めるが、どうか。</p> <p>2. 町民の意見を反映させる手だては</p> <p>町の事業について説明不足や話がなかった等の指摘をされ、町が揺れている。説明等の時期や目的を整理する必要性についての所見を問う。</p>	<p>町長</p> <p>町長 教育長</p>

	<p>3. 開発等における新たな町のルールづくりを 以下の点について新たな手だてが必要と考えるが、どうか。</p> <p>(1) 工事に使われる町道の原状復帰を起因者に求めること。</p> <p>(2) 造成協力地の扱いの明確化。</p> <p>(3) ごみ置場のトラブル回避。</p> <p>(4) 墓地、葬儀場の設置基準。</p>	町 長
	<p>4. ごみ処理施設の設置は柔軟な対応を 二宮町復帰によるごみ処理広域化の実施計画策定が最終段階を迎えるが、町に設置予定の施設については設置の有無を含め規模や内容が現状に見合うものになり得るのか。町の認識を問う。</p>	町 長

10名 26問

※時間は、事情により変更になる場合がありますのでご了承ください。